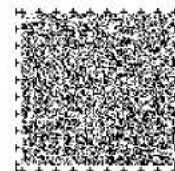


センターだより



〈発行〉 国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局 神戸視力障害センター
神戸市西区曙町1070 電話(078)923-4670 FAX(078)928-4122
URL : <http://www.rehab.go.jp/kobe/> E-mail : syomu-kobe@rehab.go.jp

就労移行支援(養成施設) 平成29年度卒業証書授与式



平成30年3月1日(木)
平成29年度 就労移行支援(養成施設)卒業証書授与式が執り行われました。

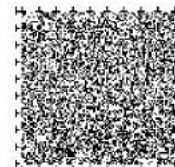
卒業生からのメッセージ

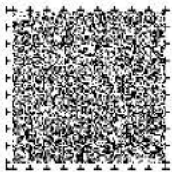
卒業に当たって三年間お世話になり感謝いたします。支えてくださった方への感謝を忘れずこれから少しでも社会の皆様のお役に立てるようにやって行きたいと思っております。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

当センターを卒業後は、自分自身が楽しいと思うことを精一杯やろう!と思います。センター入所前はアパレル関係の仕事に携わっており、好きな場所で好きな人達と好きなものに囲まれて仕事をしていました。しかし、眼の病気を患い、続けていくことが困難となっていました。そんな中、担当医の紹介で知ることとなった当センターとあん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の仕事。今まで経験のない理療の勉強や仕事を好きになれるのだろうか?続けていけるのだろうか?という不安や仕事から離れ3年間学生をするという不安が入所するまでにありました。しかし、入所してからは先生方の楽しい

講義や実習のおかげで不安はすぐなくなり理療の虜になりました。理療の知識・技能を身につけることで、病症をやわらげることや悩みを軽くすることができ、みんなが楽しく過ごすお手伝いができるということを学び、そこにやりがいを感じました。臨床実習では多くの人を施術させて頂き、その中で、「楽になった」と笑顔で「ありがとう」を頂きました。その声が力となり自身も楽しく実習を行うことができました。また施術中の患者さんとの他愛もない会話も魅力だと感じました。これは前職と繋がる場所があり、また好きな接客の仕事も続けていくことを嬉しく思います。こうして、突然障がいを持つことになってしまった中でも、以前と変わらずたくさんの人との繋がりを大切に、楽しく仕事できることに感謝し、精一杯がんばります!





私は3年間のセンター生活、特に臨床実習の中で人との関わりの大切さ、そして誰かを笑顔にする喜びを改めて学ばせて頂きました。これまで

私の私は家族や友人、周囲の方々に助けられながら生きていた自分に、感謝しつつもどこか罪悪感や引け目を感じており、他人と深い関わりを持つと努力を怠ってきました。ですが、臨床に来られる患者様が「ありがとう」と微笑んでくださる度に、この人の為に出来ることがもっとあったのではないかと、もっと良い治療ができたのではないかと、深く考えるようになっていきました。同時に次はあの時の「ありがとう」にきちんと応えられるように努力出来る人間になりたいとも思うようになりました。他人に対しては怯えるばかりで、その人の事を考えるのはとても苦手だったので、これからは誰かの為に全力を尽くせるよう精進していきたいと思えます。周囲に対する罪悪感や引け目は完全になくなったとはまだまだ言えません。ですが、いつか自分で自分に誇りを持てるように、卒業後も「ありがとう」「楽になった」と仰って頂けた時の嬉し

さを忘れず、たくさんの方に笑顔になってもらえるような、恩返しをし続けられる治療者になりたいです。



当センターでは、2年前にお世話になってから、センターの職員方、先生方、それから同級生と後輩の皆さんの叱咤激励を頂いたおかげでセンター生活を楽しく過ごせました。また、プライベートでも趣味のマラソンを通じて友達も増えて入所前では果たせなかった彼女も出来ました。当初は趣味のマラソンやスポーツ事を考えて、スポーツ関係の治療に行きたいと考えてました。しかし、僕の父と母が生まれつき高齢での環境で育ったこと、また、職場見学や3年生の臨床を受けているうちに、年輩の方のお世話をする仕事がしたいという気持ちが強くなりました。

去年の9月には同級生、去年の暮れには父を亡くすと言う悲しい出来事がありました。今思う事は、これから治療家としてこの場面に出くわしたら、自分だったらどうするかということです。容体が急変したら動揺するかもしれませんが、今まで学習してきた疾患を思い出ししっかり対応していきたいと思えます。センターで学んだ事を社会に役立てたいと思えます。

卒業生の方々へ

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

私たちが入所してからあつという間の2年間でしたが、右も左もわからぬまま行き詰っているところを幾度となく助けていただきました。

頼りなかった私たちも、皆さんの温かいご指導のおかげでなんとかここまでやってくることが出来ました。勉強のこと、寮生活のこと、行事のこと等々、数え上げればキリがありません。ほんとうに有難うございました。

先輩方が卒業してしまうことで、正直不安でいっぱいですが、その背中に追いつき、そして追い越すことを目指し日々努力を重ねていこうと思えます。

卒業を迎えられた皆さん方は、それぞれに夢をお持ち

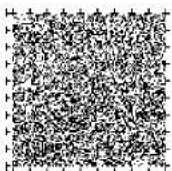
だと思えます。これから社会の中で、現実と向き合い、困難や壁にぶつかりながらも、その度に道を切り開いていかれることと信じています。国家資格取得を目指して勉強に取り組んだこの3年間は心の糧として、これからも頑張ってください。

私たちにとっても皆さんと一緒に過ごし学んだ神戸センターの思い出は、生涯忘れない大切な宝物になると思えます。どうかお身体には気を付けて、それぞれの道を歩んでいってください。皆さま方一人一人が、これからも元気に楽しく過ごし、そしてそれぞれの夢をかなえられることを、心より祈っております。

光友会 会長 眞鍋 賢司

専門3年クラス担当職員から卒業生へ贈る言葉

卒業おめでとうございます。4月からはいよいよお仕事を始めることとなるわけですが、患者さんに喜んでもらえるような施術ができるよう、これまでも増して頑張してほしいと思えます。知識や技術の習得はもちろん、何にもまして、人の気持ちが理解できる人間味溢れる施術者になってください。ご活躍お祈りしております。

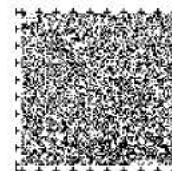


皆さん、よくぞ、卒業までたどり着きました！本当によくやりました！皆さんの日々の大変な大変な苦勞をつぶさに見てきましたので、卒業までたどり着いたことは、本当にかんまりすごいことをやってのけたと思えます。皆さんはこれだけ大事をやってのけたのだから、今後も、いろんな苦難がやってきても、乗り越えていくことを信じて疑いません。センターでの苦難を乗り越えることができた事実を自信に変え、自分を信じて、頑張ってくださいね。本当に、卒業おめでとう！

教務課 土志田 武

支援課 嘉村 崇史

平成29年度オープンキャンパス



平成29年7月22日（土）にオープンキャンパスを行い18名の参加がありました。

今年は就労移行支援の内容として解剖学とはりきゅう実技の模擬授業、自立訓練の内容としてiPad等のICT活用訓練と補助具利用の体験、共通の内容として利用者との懇談、施設見学、個別相談を行いました。

いずれの内容についても積極的に参加していただくことができましたが、特にはりきゅう実技やICTの体験については、当センターの訓練で実際に使用するはりきゅう用具やICT機器に触れながら、訓練の内容を理解できることもあり、多くの方に興味をもっていただくことができました。

また、利用者との懇談については、実際に訓練を

受けている方から直接センターの生活や訓練の様子を聞くことができ良かったと好評でした。

次年度も同時期にオープンキャンパスを実施する予定です。詳細は5月末から6月初旬に当センターホームページに掲載いたします。



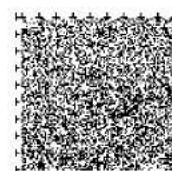
平成29年度公開講座について（終了報告）

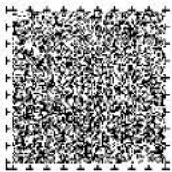
今年度の公開講座は平成29年10月28日（土）に、椅子に座ってできる『首・肩こりのツボ療法』を演題として、当センター地域交流棟臨床研修室で実施しました。当日は台風22号の接近により、小雨がぱらつく中での開催となりましたが、18名の方が参加されました。

さて、実習では2人がペアとなり、講師と共に対象とする8つのツボの位置等を確認してそのツボを押したり、揉んだりしながらお互いの筋肉のこりを取り合っ気分爽快に！しかし、ツボの位置を定めるのに苦心した方からは「ツボが分からへん」とのギブアップ宣言も飛び出す場面もあり、終始にぎやかな講座になりました。

今回の講座で練習したことが、ご参加いただいた方々の健康維持に役立つようであれば幸いです。皆さん雨の中お集まりいただきましてありがとうございました。

最後に、講座開催にご尽力いただいた関係各位に心から感謝申し上げます。





訓練公開

平成29年10月18日（水）に当センターでは初めての取り組みとなる訓練公開を実施しました。訓練公開は外部の方に対して日頃行っている実際の訓練を公開し当センターの理解を深めていただくことを目的としています。

申し込みは実施が平日にもかかわらず定員一杯の20名でした。当日はセンターの概要説明の後、東洋医学概論や医療概論などの座学授業に加え、あん摩や指圧、白杖歩行などの実技についても見学をしていただきました。

参加者アンケートでは「恵まれた環境で日々学んでいる様子が伝わってきました」「楽しく和やかな雰囲気でした」「施設整備の素晴らしさ、ハード面での充実を実感しました」「皆さん元気で

前向きに学習されていて楽しそうでした」などの感想をいただきました。

来年も同時期に訓練公開を実施する予定です。来年はより一層充実したものを目指しますのでご期待ください。詳細は決まり次第当センターホームページに掲載予定です。



卒後研修会および卒後特別研修会について

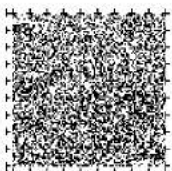
あん摩・鍼・灸課程を卒業された皆様方を対象に年2回研修会を実施しています。1つは30名程度の方を対象とした卒後研修会、もう一つは丁寧に指導が受けられるよう20名程度の方を対象とした卒後特別研修会です。

今年度はそれぞれ、『在宅ケア第2弾・患者さんのQOLの向上を目指して』（講師：株式会社訪問リハビリ研究センター代表取締役、西村久代先生）、『高齢者の身体特性、施術するなら知っておきたい医学的知識とその具体的な方法』（講師：兵庫大学看護学部長、長尾光城教授）というテーマで実施しました。

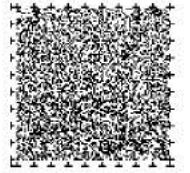
西村先生は、基本肢位の大切さ、基本肢位をとることができれば運動もスムーズにできるし、姿勢も良くなるといった内容を中心に、体育の先生でもあり整

形外科のお医者さんでもある長尾先生は高齢者の特性と、運動やストレッチの大切さを中心に指導してくださいました。

どちらの先生も話しも上手で、また元気のある先生方で、評判の良い研修会でした。



平成29年度臨床研修講座および 進路支援講座について



あん摩師・鍼師・灸師を目指して学習している利用者の皆様に対し、よりよい施術者になってもらうべく、第一線で活躍されている先生方などによる講座を実施しています。

今年度実施した臨床研修講座のテーマは、「高齢者に対する鍼灸施術」、「機能訓練に役立つ治療的アプローチ（デイサービスの立場から）」、「鍼灸治療の医療過誤（安全な治療法を目指して）」、「機能訓練の進め方（病院勤務の立場から）」、「訪問マッサージの実際」です。また、進路支援講座のテーマは「あはき師の未来に向けて」、「視覚障害者としての接遇についての基礎」、「視覚障害を持つ医療施術者としてのコミュニケーションスキ

ルについて」、「就労にむけて知っておくべきこと」、「医療保険と鍼灸マッサージ」、「理療ハラスメントのリスクマネジメント」（以上進路支援講座）です。



利用者自治会主催 秋のレクリエーション

平成29年11月29日（水）利用者13人と職員5人を乗せたセンターバスは、山道での車酔いを忘れるため「クイズ有馬温泉」に全員でチャレンジ。10時には「六甲山の上美術館 さわるみゅーじあむ」へ到着し、彫刻等の美術品だけでなく、ゆっくりと宝石にも触れる貴重な体験をさせていただきました。その後は列になってロープウェイ乗り場まで徒歩20分程移動。濃霧で数人後ろはもう姿が見えず、声だけがしています。スマホがあるのに道に迷いかける先頭、お腹が減ったと友人にお菓子を要求する人など、ガ

ヤガヤ言いながらも何とかロープウェイに乗車。山を下り有馬温泉駅に着くと、そこには紅葉の世界が広がっていました。温泉街ではチーム釜飯とチーム洋食に分かれて美味しい食事を満喫。自由時間には金の湯、銀の湯、足湯を満喫し、しっかりお土産も買いました。今後はもっと多くの職員との親睦を深めたいと利用者からの感想がありました。期待したいと思います。



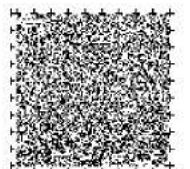
つるつるとした手触り。
水晶でできた馬

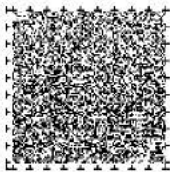


テンションは高め！@有馬温泉駅



食べる時も一生懸命！
@有馬温泉





神戸アイセンター病院ビジョンパークにおける 当センターの外来相談等の取組み

当センターでは、神戸アイセンターにおけるリハビリ・就労支援の事業に協力するため、平成29年12月1日から神戸アイセンター2階のビジョンパークに定期的に出向き、眼疾患の患者や視覚障害者、家族等に対する相談支援活動や福祉講座・体験会等を通じて、視覚障害による困りごとの解消に向けた情報提供を行うとともに、円滑な視覚障害リハビリテーションへの移行についての啓発等を実施しています。

活動にあたっては、週あたり1～2回の頻度で13時から17時の時間帯に2名の職員を派遣し、試行期間の3月末までに20回程の活動を経て、平成30年度から本格実施の予定です。

なお、当センター以外にも、近畿地区の関係機関や視覚障害者団体等、数団体が同様に活動に参画しており、活動日が重なる場合は連携し協同して行っています。これらの団体等の活動日のスケジュール調整や支援が必要とされる患者と相談に応じる関係機関とをつなぐ役割はビジョンパークを運営する公益社団法人ネクストビジョンが行っています。今後、神戸アイセンター病院で診察する眼科医とビジョンパーク内で活動するネクストビジョンの職員や当センター等の関係団体との連携がより一層図れることで、患者等へのきめ細やかな相談対応の可能性が高まります。

試行期間中の10回を終了した2月1日現在、ネクストビジョンの職員（情報コンシェルジュ）から紹介され、当センターのブースを訪れた患者は18名となります。最も多い相談は視覚的補助具の情報入手に関するものであり、当センターから持参した機器を紹介し、

使用体験をしてもらっています。また、必要に応じて取り扱う複数個所の業者の紹介を行っています。



相談を訪れる患者は視覚障害手帳の有無に限らず、視覚の低下により様々な困りごとを抱えており、限られた時間の中で対応に苦慮する場面もありました。相談対応の結果、困りごとの解消につながったことで感謝されたり、当センター利用に向けた相談や他事業所等への紹介等、次への展開につないだことで好評を得た事例もありました。しかし、その場の相談に留まったものも数件あり、このような事例が今後の活動の課題となっています。こうした課題等への対応も検討しながら、平成30年度から本格的な活動を行っていくこととしています。



神戸アイセンター2階ビジョンパーク

自立訓練 教養講座

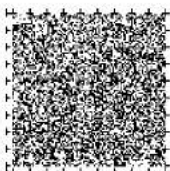
教養講座は月に一度、余暇活動の幅を広げ、日常生活に役立てられるような情報や体験の場を提供することを目的に行っている訓練です。毎月取り入れたいものを利用者同士で話し合い、利用者の案で講座を企画します。これまで施設内では燻製やスポーツ麻雀、流しそうめんなどを行い、施設外では中華街散策やレーザークラフト体験等を行ってきました。茶話会を開くこともあり、利用者同士でゆっくりと話をする場にもなっています。



ただいま燻製中
♪おいしくな～れっ

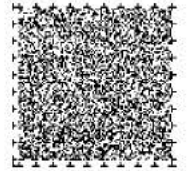


レーザークラフト体験





自立訓練 ♪俳句♪



センターでは、自立訓練（機能訓練）の在籍者と修了者を対象にした「あけぼの句会」を、永沢達明先生をお迎えして、平成29年1月より月1回開催しています。句会に参加されている皆さんからは、「季節の動きを気にするようになった」「日常生活が充実している」「仲間との交流が楽しい」等の感想が寄せられています。センターでは、今後も自立訓練の充実を図っていきたく考えています。

初詣いにしえ人の顔浮かび
孫連れてまずは屋台に初詣
鳩を追う孫追いながら初詣
玉砂利の休みなき音初詣
歳重ね願ひ重なる初詣
落ちて尚たぎる想いの寒椿
波を突く拳の傷や寒稽古
挨拶の言葉短く寒の入り
波しぶき気合い一魂寒稽古
健やかに集いて食す雑煮膳
十でひとつ今年は六つ雑煮餅
隆々と椀に満ちたる雑煮もち

♪1月の句会 永沢達明選

京子 伸介 京子 伸介
良和 美和 美和 伸介
俊和 俊和 俊和 伸介
京子 京子 京子 伸介
美和 美和 美和 伸介
実由紀 実由紀 実由紀 伸介

寄鍋や味のひとつに君の声
寄せ鍋を囲んで友と高笑い
おでん鍋串を取り合ふ父と子の
寄せ鍋や育てし葱の柔らかかさ
冬木立山をセピアに塗りつぶし
陽をうけて更に静かや冬木立
風止みて時が止まりぬ冬木立
見当たらぬ愛犬炬燵より出ずる
こたつして湯呑みふたつの夫婦会
帰宅して上着も脱がずまず炬燵
親しさに多弁になりしこたつかな
幸せはこたつに有りとネコが言う
父の音して隠れ入るこたつの子

♪12月の句会 永沢達明選

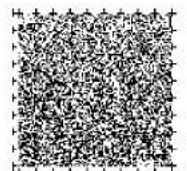
俊和 美和 俊和 伸介
美和 美和 美和 伸介
実由紀 実由紀 実由紀 伸介
良和 良和 良和 伸介
伸介 伸介 伸介 伸介
めぐみ めぐみ めぐみ 伸介

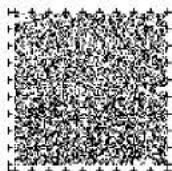
平成30年度 センター行事予定

(2018年4月から2018年9月まで)

- 4月11日(水) 初期学習支援（専門1年）
(4月17日まで)
- 16日(月) 就労移行支援（養成施設）入所式
就労移行支援（養成施設）始業式
前期授業開始
- 5月中 旬 解剖見学実習
24日(木) 第1回総合避難訓練
- 6月14日(木) 前期中間一斉試験（6月15日まで）
- 7月上 旬 余暇活動支援（福岡センターとの
スポーツ文化交流会）
14日(土) 就労移行支援（養成施設）利用者
夏期休業（8月19日まで）
21日(土) オープンキャンパス

- 8月10日(金) 自立訓練（機能訓練）利用者
夏期休業（8月17日まで）
20日(月) 再理療教育利用開始
- 9月上 旬 敬老治療奉仕
12日(水) 前期期末一斉試験（9月14日まで）





利用者募集

視覚に障害のある方を対象として、就労移行支援（養成施設）、自立訓練（機能訓練）のサービスを提供しています。

就労移行支援（養成施設）は3年制で、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家資格取得のための職業訓練を行います。資格取得後の進路は、高齢者施設や一般企業のヘルスキーパー（企業内理療師）等への就職、治療院の開業、進学等です。

自立訓練（機能訓練）では、歩行、パソコン、タブレット端末、録音再生機器、視覚的補助具（ルーペ、単眼鏡、拡大読書器、遮光レンズ）、日常生活に関する訓練（例：調理）等を行います。訓練を修了された方の中には、当センターの就労移行支援（養成施設）に進む方もいます。

利用を希望される方は、まず当センターに御相談ください。来所による相談や見学も受け付けています。なお利用申込に必要な書類は当センターから取り寄せていただくか、ホームページからも印刷できます。利用に関する相談以外に、生活に役立つ道具のご紹介、他の施設やサービス等のご案内もいたしますので、お気軽にご連絡ください。

就労移行支援（養成施設）

対 象 視覚に障害のある方で、施設利用について市区町村から「障害福祉サービス受給者証」の交付を受けた、次の①または②に該当する18歳以上の方。

①学校教育法第90条第1項の大学に入学することができる方。

②当センターが実施する「個別利用資格審査」によって、高等学校を卒業した者に準ずる学力があると認められた方

募集人員 20名（あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科専門課程）

利用開始 平成31年4月上旬

利用期間 3年間

利用方法 通所またはセンター内宿舎利用（宿舎は休日も利用可）

受付期間 平成30年8月頃より（お問い合わせください）

自立訓練（機能訓練）

対 象 視覚に障害のある方で、施設利用について市区町村から「障害福祉サービス受給者証」の交付を受けた方

定 員 10名

訓練内容 歩行 パソコン 点字 ロービジョン 調理 スポーツ 陶芸 レクリエーションなど

利用期間 個人に応じる

利用方法 通所またはセンター内宿舎利用、訪問訓練（※応相談）

備 考 利用申込みや利用開始時期は随時

連絡先

神戸視力障害センター 支援課

【電 話】078 - 923 - 4670

【F A X】078 - 928 - 4122

【Eメール】shien-kobe@rehab.go.jp 【ホームページ】<http://www.rehab.go.jp/kobe/>

